

# 東京湾海況情報 R07-7

東京湾水質調査結果（令和7年10月）

（令和7年10月20日発行）

資料 水質調査 10/6 ふさなみ（内湾）、10/6 ふさみ丸（内房海域）、関東・東海海況速報

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
〒293-0042 富津市小久保3091  
TEL 0439-65-3071  
千葉県農林水産技術会議

10月6日にふさなみ、ふさみ丸で行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

## 【水温・塩分】

表層水温は内湾で23～25℃、内房海域で23～24℃と、内湾は最近10年間の平均値より1～2℃高く、内房海域は平均値並でした。表層塩分は内湾で27～31、内房海域で30～33と、内湾は最近10年間の平均値並～1高く、内房海域は平均値並～2低い状況でした（図1～3、表1）。9月までみられた底層からの低温・高塩分の湾口水の進入は弱まっていた。

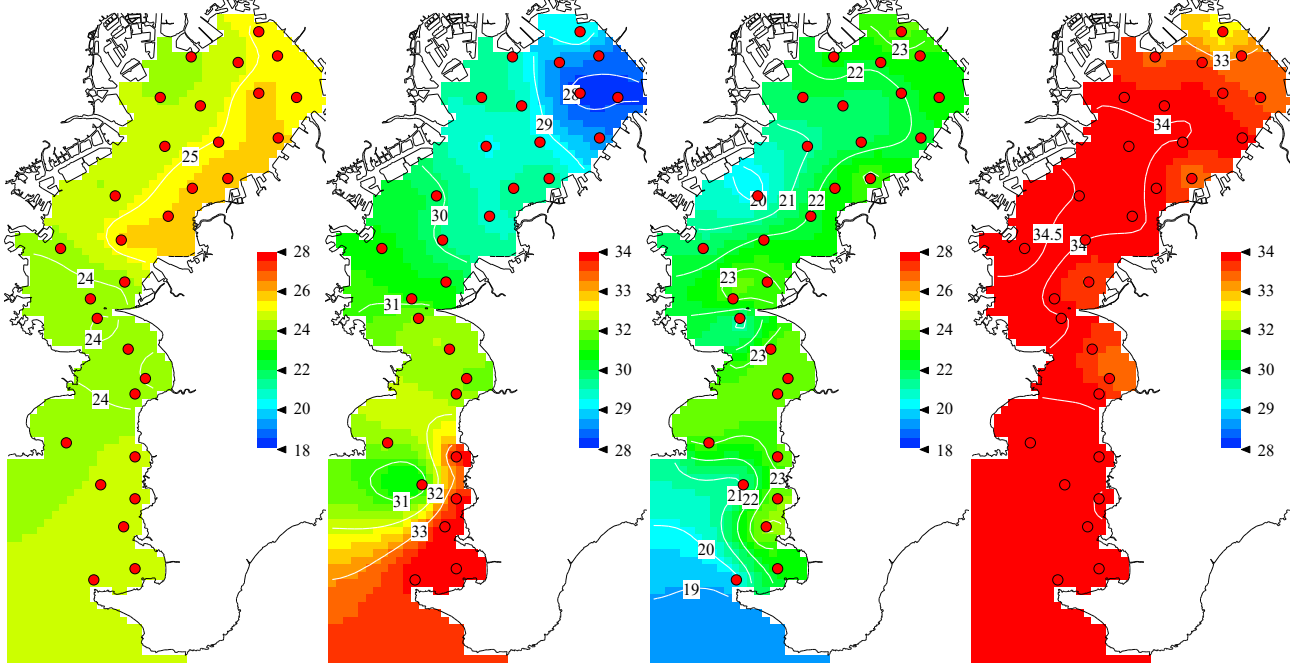


図1 表層の水温・塩分

図2 底層の水温・塩分

## 水温

J7, St. 31が欠測のため、縦断面図を分けて表示しています。

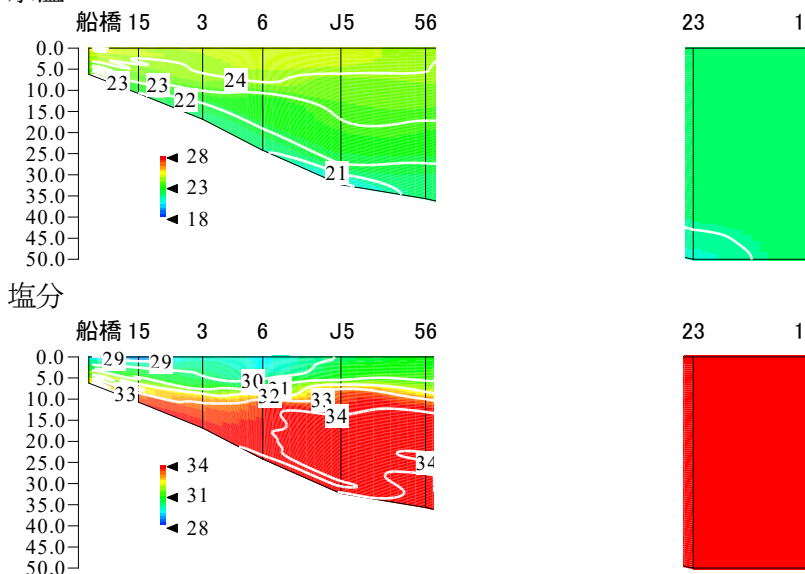


図3 縦断面の水温・塩分

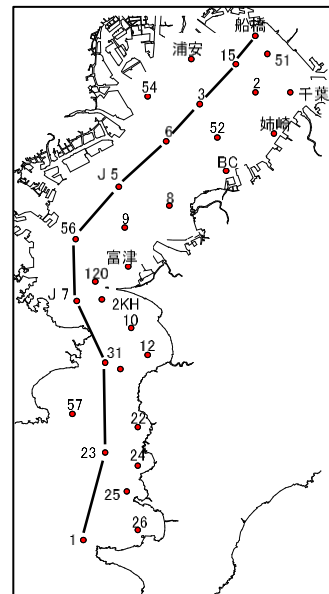


図4 水質調査点  
（実線は調査ライン）

**【赤潮】**

透明度は内湾で 1.7~4.0 m, 内房海域で 4.0~17.0m でした (図 5)。植物プランクトンの指標となるクロロフィル a 濃度は, 内湾で 19~67  $\mu\text{g/L}$ , 内房海域で 5  $\mu\text{g/L}$  以下~25  $\mu\text{g/L}$  でした (図 6)。赤潮はみられず, プランクトンの優占種は珪藻タラシオネマ属, シュードニッチア属などでした。

**千葉県の赤潮の目安**

色	オリーブ~褐色
酸素飽和度	150% 以上
透明度	1.5 m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	50 $\mu\text{g/L}$ 以上

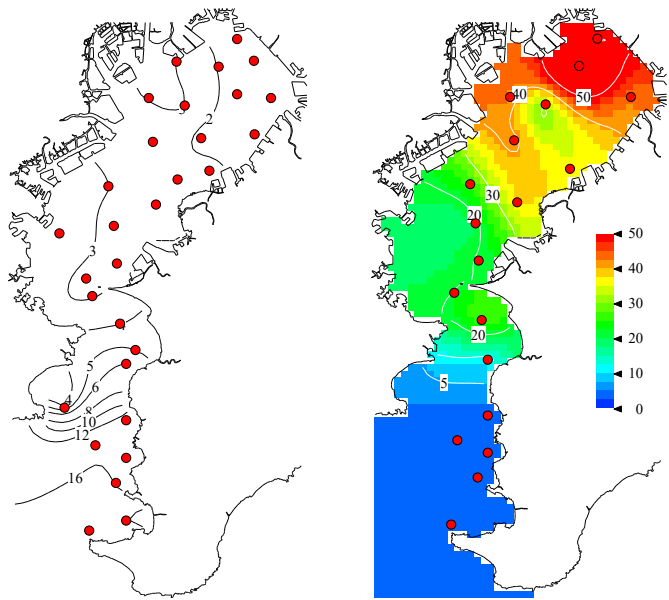


図 5 透明度

図 6 クロロフィル a 濃度

**【貧酸素水塊】**

貧酸素水塊は, 内湾北部~中央部の水深 5~30 m の広範囲に分布していました (図 7, 8)。

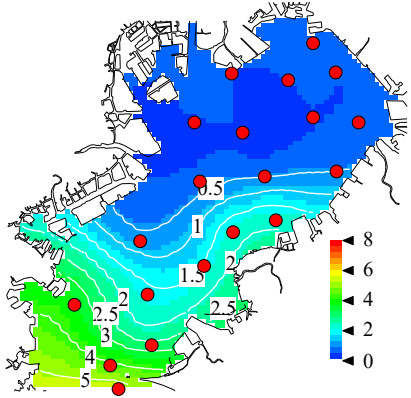


図 7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

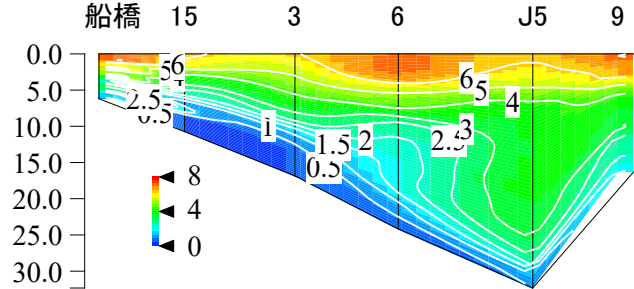


図 8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

**貧酸素水の基準**

溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50% 以下

**【栄養塩】**

表層の窒素 (DIN) は内湾で 50  $\mu\text{g/L}$  以下~424  $\mu\text{g/L}$ , 内房海域で 50  $\mu\text{g/L}$  以下~102  $\mu\text{g/L}$  でした。表層のリン (DIP) は内湾で 5  $\mu\text{g/L}$  以下~55  $\mu\text{g/L}$ , 内房海域で 5  $\mu\text{g/L}$  以下~15  $\mu\text{g/L}$  でした (図 9)。

内湾の窒素及びリンは, 依然として成層が維持され鉛直混合が起きにくい海況であるため, 最近 10 年間の平均値と比べて少ない状況でした (表 1)。

今後, 気温の低下や北寄りの風などにより成層が崩れ鉛直混合が進むと, 内湾の底層から栄養塩が供給される状況となることが予想されます。

**DIN**

**DIP**

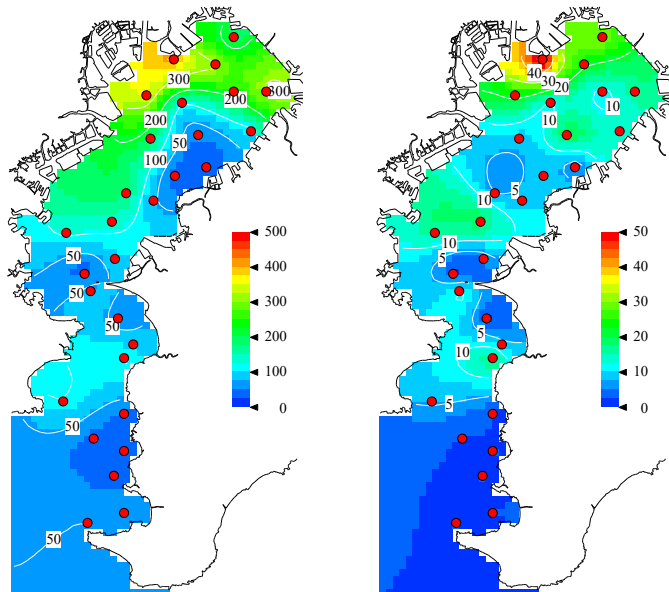


図 9 表層の栄養塩濃度 ( $\mu\text{g/L}$ )

【黒潮】

黒潮はC型流路でした。黒潮は房総半島の沖を北へ流れており、東京湾口への暖水波及は弱まっていた（図10）。

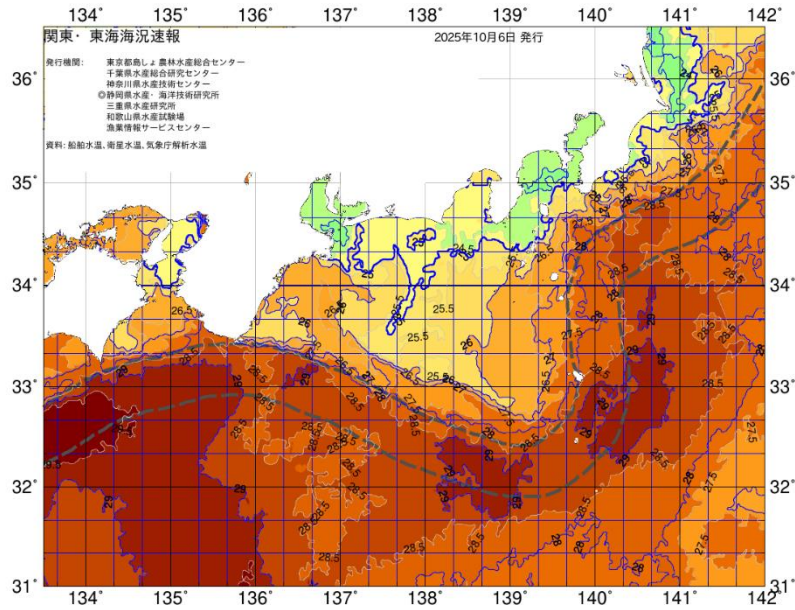


図10 黒潮の動き（令和7年10月6日）

表1 主な調査点の水質調査結果(表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ):最近10年間の平均値(2015~2024年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (μg/L)	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	クロロフィルa (μg/L)
内湾	船橋	25.1 (23.4)	29.3 (28.5)	1.8 (2.3)	8.5 (8.4)	0.2 (3.8)	10.0 (55.5)	165.3 (239.1)	28.2 (26.6)
	st.15	24.5 (23.3)	28.5 (28.3)	2.0 (4.3)	8.5 (8.5)	0.0 (2.6)	12.7 (52.2)	306.3 (207.3)	21.6 (26.3)
	st.3	24.4 (23.1)	29.6 (28.0)	3.0 (3.2)	8.5 (8.5)	0.0 (2.0)	11.7 (31.6)	102.1 (255.4)	9.1 (24.2)
	st.6	24.6 (23.0)	29.2 (28.1)	2.3 (3.2)	8.6 (8.4)	0.0 (3.0)	16.0 (45.9)	157.7 (262.5)	6.8 (26.3)
	st.9	25.4 (23.3)	29.8 (29.9)	2.5 (3.1)	8.6 (8.4)	1.5 (3.7)	11.1 (22.7)	122.5 (117.2)	16.8 (18.8)
	st.BC (盤洲Cブイ)	25.8 (23.4)	29.7 (29.7)	2.2 (3.0)	8.7 (8.4)	1.5 (3.8)	4.1 (31.3)	6.9 (145.7)	3.3 (22.6)
	st.8 (盤洲A南)	25.4 (23.1)	29.5 (30.1)	2.5 (3.3)	8.7 (8.4)	1.2 (3.4)	9.7 (30.2)	56.7 (141.7)	6.7 (22.0)
	富津	24.1 (22.7)	30.5 (30.2)	2.7 (3.5)	8.4 (8.3)	2.1 (4.1)	10.9 (35.1)	70.5 (170.7)	2.7 (18.0)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	24.0 (22.9)	31.6 (31.6)	3.0 (4.1)	/	4.9 (4.9)	12.9 (16.1)	69.1 (77.2)	10.3 (11.8)
	st.31	/	/	/	/	/	/	/	/
	st.23	24.4 (24.5)	30.7 (33.5)	15.0 (11.6)	/	5.9 (5.0)	12.4 (7.6)	16.2 (18.6)	0.0 (1.9)
	st.1	24.3 (24.7)	34.0 (33.7)	17.0 (14.6)	/	5.8 (4.8)	41.4 (14.7)	50.7 (25.1)	0.0 (2.3)
	st.10 (下洲沖)	24.0 (23.0)	31.8 (31.5)	4.0 (3.9)	/	6.1 (5.3)	9.2 (12.9)	36.1 (76.1)	0.0 (11.4)
	st.12 (湊沖)	24.0 (23.1)	31.4 (32.1)	5.0 (4.4)	/	6.2 (5.2)	15.6 (7.1)	70.8 (31.2)	6.7 (5.7)
	st.22 (保田沖)	24.6 (24.0)	33.9 (33.3)	13.0 (9.2)	/	6.5 (4.8)	16.2 (11.0)	20.0 (24.7)	0.0 (2.8)
	st.24 (富山沖)	24.7 (24.4)	33.9 (33.6)	15.0 (11.0)	/	6.7 (4.9)	15.5 (13.1)	17.8 (24.3)	0.0 (2.7)
st.26 (館山湾内)	24.3 (24.7)	34.0 (33.7)	16.0 (12.4)	/	6.3 (4.9)	33.4 (11.1)	41.0 (23.4)	0.0 (3.2)	

注) ※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。